



2024 年度（令和 6 年度・第 10 期）

事業報告書

1. 2024 年度を振り返って
2. 2024 年度 事業報告書
 - ・ 全体概要
 - ・ 運営に関する事項
3. 2024 年度 活動計算書
4. 2024 年度 貸借対照表
5. 2024 年度 財務諸表の注記
6. 2024 年度 財産目録

認定特定非営利活動法人ポケットサポート

1. 2024 年度を振り返って

2024 年度は 9 月に移転した新しい支援拠点を中心に、私たちの原点とも言える対面での相談や交流支援、学習・復学支援を本格的に展開することができました。岡山県の「小児慢性特定疾病児童等自立支援事業（以下、小慢事業）」の相談事業、また倉敷市の小慢事業における相互交流支援を受託したことで、県内全域で地域出張型の交流イベントを実施することができました。さらに、コロナ禍以降約 5 年ぶりとなる小児科病棟内での支援活動も再開するなど、節目の一年となりました。主催する講演会やフォーラムも、現地開催とオンラインを併用しながら、全国の支援者・当事者の皆様と新たなつながりを築くことができました。こうした出会いや交流は、次なるアクションへの原動力にもなっています。



ミッション①「環境をつくる」

新拠点の開設により、学習支援や交流、相談活動がより活発になり、たくさん子どもやご家族と時間を共にすることができました。なかでも印象的だったのは、「子どもが長期入院になり、受験時期まで入院が続くことになってしまった。病院内でも勉強を続け、受験は可能でしょうか？」という保護者からの相談で始まった、約 8 か月間にわたる継続支援です。

本人も「将来の夢に向かって受験をがんばりたい」と強い意思を持っており、体調の波があるなかでも、ほぼ毎日のように学習を継続しました。面接対策も、元・院内学級教員のスタッフとともに

に丁寧に準備し、保護者と連携しながら教育委員会や受験校への働きかけも行いました。結果として、インフルエンザ等の感染リスクを避けるため、退院を少し先延ばしにする形で院内受験を実現することができました。

退院後、「ボケサポがなかったら、受験は諦めていたと思う。本当にできてよかった。ありがとうございました。」と話してくれた本人の言葉に、私たちも深い喜びと励ましをもらいました。



ミッション②「生きる力を育む」

小慢事業の相談事業の受託や、新拠点の開設により、LINE・電話・メールといった多様な手段で寄せられる相談にも日々対応しています。情報があふれる時代とはいえ、病気と向き合う子どもたちやそのご家族が、同じような立場の人と情報交換できる場はまだまだ限られています。コロナ禍を経た今もなお、不安を抱える方は少なくありません。

支援拠点での交流イベントでは、看護師、元・院内学級教員、療育に関わる保育士など、さまざまな専門職がスタッフとして関わり、多角的な視点で子どもや家族のニーズに応じた対応を行っています。たとえば、ネフローゼの子どもを持つ保護者向けの座談会では、終了後も会場を出た保護者同士が階段の踊り場で話し込む姿があり、ピアサポートの意義をあらためて実感する場面となりました。今後も、安心して語り合える場、相談できる場を丁寧に作り続け、子どもたちとご家族の「生きる力」を支えていきたいと考えています。



ミッション③「人や気持ちをつなぐ」

2024年度は、全国向けに2回の講演会・フォーラムを開催。また、ベネッセこども基金との協働事業として、小慢事業に関わる自立支援員を紹介するパンフレットを作成しました。冊子作成やフォーラム開催にあたっては、東京の「難病のこども支援全国ネットワーク」、愛媛の「ラ・ファミリエ」、大阪の「しぶたね」といった、ポケットサポート設立以前からお世話になっている先輩団体の皆さんにご協力いただき、強いつながりを感じることができました。また、倉敷市で新たに始まった事業では、多くのご家族に交流イベントへご参加いただいたほか、小児科病棟での支援活動もスタートし、病気とともに生きる子どもやご家族とのつながりを広げることができました。

2024年度もまた、病気を抱える子どもたちが学び、ご家族が安心して交流できる「場」があることを喜んでいただける機会にたくさん立ち会うことができました。そして、それは日々支えてくださる医療関係者、学校関係者、支援者、そしてポケサポのスタッフ一人ひとりの存在があつてこそ成り立つものです。皆さんと連携し、協働していくことの大切さを改めて実感した一年でした。

これからも岡山の地で、病気とともに生きる子どもたちとご家族のために、一步一步、着実に歩みを進めてまいります。

代表理事 三好 祐也



2. 2024年度（令和6年度・第10期）事業報告

（1）病弱児の身体的精神的状態に合わせた学習復学支援事業

事業名	事業 内容	区分	支出	受益対象・人数
		開催日時・場所		従事者数
個別学習支援および 大学生ボランティア育成	自宅療養中や復学初期の子どもに対して 支援拠点や ICT を活用した学習支援	自主	128,548	小中高校生 延べ約 20 名
		随時・オンライン等		6 名
科学と数学の 対話型体験学習	探求学習プログラム ELMS を活用した 学びや発見・考える楽しさを再発見する (MDRT Foundation-Japan 助成)	助成	233,093	小中高校生 延べ約 30 名
		年 2 回・県内公共施設		8 名
支援拠点移転整備事業	事業拡大および支援員増員に伴う 支援拠点の移転および環境整備 (赤い羽根助成およびクラファン実施)	助成 自主	6,731,975	慢性疾病児童等 延べ約 100 名
		随時・岡山市北区春日町		8 名
ピアサポート事業 (岡山県)	小児慢性特定疾病児童等自立支援員が ピアサポート相談や多職種と機関連携 (岡山県小児慢性特定疾病児童等自立支援員相談等支援業務)	受託	5,129,425	慢性疾病児童等 延べ約 100 名
		随時・現地＆オンライン		6 名
		小計	12,223,041	

（2）病弱児同士の交流や集団での学習活動の支援事業

事業名	事業内容	区分	支出	受益対象・人数
		開催日時・場所		従事者数
ポケットスペース (岡山市)	利用者の環境に応じた相互交流、 ピアサポート相談、学習支援を実施 (岡山市小児慢性特定疾病児童等相互交流支援事業)	受託	2,124,468	慢性疾病児童等 延べ約 60 名
		毎週 2 回・オンライン等		延べ約 250 名
ポケットスペース (岡山県)	利用者の環境に応じた相互交流、 ピアサポート相談、学習支援を実施 (岡山県小児慢性特定疾病児童等自立支援事業)	受託	3,418,438	慢性疾病児童等 延べ約 70 名
		毎週 2 回・オンライン等		延べ約 250 名
ポケットスペース (倉敷市)	利用者の環境に応じた相互交流、 ピアサポート相談、学習支援を実施 (倉敷市小児慢性特定疾病児童等自立支援事業)	受託	2,508,448	慢性疾病児童等 延べ約 55 名
		毎週 2 回・オンライン等		延べ約 250 名
交流イベント (きょうだい含む)	季節に応じた体験交流イベント開催で 当事者同士のピアサポート、自分らしい 家族形成支援につなげる	自主	273,814	当事者家族等 のべ約 160 名
		月 1 回・県内公共施設		延べ 132 名
キャッシュフローゲーム 体験活動	将来の職業選択を広げるお金の仕組み キャッシュフローゲーム体験活動 (中国労働金庫助成事業)	助成	317,356	慢性疾病児童等 延べ約 12 名
		年 2 回・県内公共施設		延べ 10 名
		小計	8,642,524	

(3) 病弱児への支援に関する啓発活動および拡充事業

事業名	事業内容	区分	支出	受益対象・人数
		開催日時・場所		従事者数
講師派遣事業	大学等に講師を派遣して 病弱児支援について広報、周知活動	謝金 自主	156,374	講演等参加者 約 600 名
		随時・オンライン等		3 名
みんなでつながる フェスティバル	様々な困難を抱える子どもや家族に 音楽鑑賞やマジックショーを提供 (橋本財団助成)	助成	576,760	慢性疾患児童等 約 100 名
		9 月・岡山大学 J ホール		10 名
全国病気療養児支援パンフ 及びコンテンツ制作	県外からの相談にも対応できるように 全国各地の支援者とのつながりを構築 (ベネッセこども基金協働)	協働	2,310,726	教育関係者等 約 200 名
		2 月・国際交流センター		10 名
支援者向け スキルアップ研修	病気療養児に携わる支援者向け 講演会＆ワークショップ開催 (田辺三菱製薬手のひらパートナープログラム助成)	助成	1,011,833	教育関係者等 約 100 名
		8 月・岡山大学 J ホール		10 名
		小計	4,055,693	

事業費計：24,921,258 円

運営に関する事項

(1) 総会

通常総会	開催日	2024 年 6 月 22 日（土）
	場所	ポケットサポート事務所（岡山市北区奥田本町 22-2）※オンライン
	出席	社員総数 26 名のうち 23 名出席（表決委任状 15 名、オンライン出席 8 名）
	決議事項	・ 2023 年度（令和 5 年度・第 9 期）事業報告及び決算報告について

(2) 理事会

第 1 回	開催日	2024 年 5 月 25 日（土）
	場所	ポケットサポート事務所（岡山市北区奥田本町 22-2）※オンライン
	出席	理事 3 名（本人出席 3 名、委任状 0 名、欠席 0 名）、監事 1 名、事務局 2 名
	決議事項	(1) 総会に付随する事項について（配布物確認） (2) 2023 年度収支報告および事業報告書について (3) 職員の健康診断（付加健診）補助について (4) クレジット決済での寄付金受領日について
第 2 回	開催日	2024 年 6 月 22 日（土）
	場所	ポケットサポート事務所（岡山市北区奥田本町 22-2）※オンライン
	出席	理事 3 名（本人出席 3 名、委任状 0 名、欠席 0 名）、監事 1 名、事務局 2 名
	決議事項	(1) 事務所および支援拠点の移転について
第 3 回	開催日	2024 年 7 月 15 日（月・祝）
	場所	ポケットサポート事務所（岡山市北区奥田本町 22-2）※オンライン
	出席	理事 3 名（本人出席 3 名、委任状 0 名、欠席 0 名）、監事 1 名、事務局 2 名
	決議事項	(1) 事務所移転に関する事項について (2) 借入・融資に関する機関の選定について (3) 改装・引っ越し・清掃に伴う業者の選定について (4) クラウドファンディングの実施検討について (5) 中国銀行ネットバンクのカード使用者見直しについて
第 4 回	開催日	2024 年 9 月 28 日（土）
	場所	ポケットサポート事務所（岡山市北区春日町 7-21-103 号室）※オンライン
	出席	理事 3 名（本人出席 2 名、委任状 1 名、欠席 0 名）、監事 1 名、事務局 2 名
	決議事項	(1) 役員報酬の見直しについて (2) クレジットカードの利用規程の改定について

第 5 回	開催日	2024 年 12 月 14 日（土）
	場所	ポケットサポート事務所（岡山市北区春日町 7-21-103 号室）※オンライン
	出席	理事 3 名（本人出席 3 名、委任状 0 名、欠席 0 名）監事 1 名、事務局 2 名
	決議事項	（1）職員の給与について （2）日本郵便送料の後納支払いについて
第 6 回	開催日	2025 年 2 月 22 日（土）
	場所	ポケットサポート事務所（岡山市北区春日町 7-21-103 号室）※オンライン
	出席	理事 3 名（本人出席 3 名、委任状 0 名、欠席 0 名）監事 1 名、事務局 2 名
	決議事項	（1）事務局長給与の遡及精算について （2）2025 年度事業計画及び予算案について （3）遺贈寄付の処理状況について
第 7 回	開催日	2025 年 3 月 29 日（土）
	場所	ポケットサポート事務所（岡山市北区春日町 7-21-103 号室）※オンライン
	出席	理事 3 名（本人出席 3 名、委任状 0 名、欠席 0 名）監事 1 名、事務局 2 名
	決議事項	（1）役員報酬について （2）2025 年度事業予算について （3）通常総会に関する日程等について

(3) 補助金・助成金

補助・助成機関名（順不同）	内 容	金 額
公益財団法人橋本財団	同じように病気療養する子どもと家族が つながり孤立解消を目的としたイベント開催	550,000
田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム	病気療養児に携わる支援者の スキルアップ講演会&ワークショップ開催	950,000
赤い羽根 重症児等とその家族に 対する支援活動応援助成	病気療養児がバリアフリーで集え、安心して 相談・交流・体験できる支援拠点への拡充事業	4,500,000
中国労働金庫	将来の職業選択を広げる キャッシュフローゲーム体験活動	300,000
MDRT Foundation-Japan	探究学習プログラム GEMS を活用した 学びや発見・考える楽しさ体験イベント開催	200,000
中村窈窕子基金	長期入院や自宅療養をしても 友達や先生とつながれる社会にプロジェクト	100,000
フコク生命 THE MUTUAL 基金	病気療養する子どもたちやその家族への 支援全般に活用	500,000

(4) 受託事業

委託元	内 容	金 額
岡山市	岡山市小児慢性特定疾病児童等相互交流支援事業	2,000,000
岡山県	岡山県小児慢性特定疾病児童等自立支援事業	3,016,200
岡山県	岡山県小児慢性特定疾病児童等自立支援員相談等支援事業	5,324,000
倉敷市	倉敷市小児慢性特定疾病児童等自立支援事業	2,360,000
公益財団法人 ベネッセこども基金	病気療養児支援者全国ネットワーク構築協働プロジェクト	2,155,000

(5) 受賞

主催者	内 容	金 額
住友生命保険 相互会社	第 18 回 未来を強くする子育てプロジェクト スミセイ未来賞 受賞副賞	500,000
Salesforce	NPO Salesforce 活用共有会 3 位入賞奨励金	30,000

(6) 外部委員会への参加など

委員会等名（順不同）	委員名
SDGs ネットワークおかやま 副会長	三好 祐也
岡山県特別支援教育専門家チーム員	三好 祐也
岡山県立早島支援学校 学校運営協議会委員	三好 祐也
岡山市市民活動アドバイザー	奥田 修平
岡山県院内学級連絡協議会	三好 祐也